

花巻地区予選

花巻東高 17 × 0 遠野緑峰高

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
花巻東	5	2	1	8	1					17
遠野緑峰	0	0	0	0	0		5回コールド			0

[遠野緑峰バッテリー] 菊池(浩)ー佐々木(眞)



【登録メンバー】※○印は主将

背番号	名前	学年	出身中	背番号	名前	学年	出身中
1	菊池優雅	2	遠野	11	小笠原莉希	3	遠野
2	菊池潤	1	遠野東	12	石橋涼	3	遠野
③	菊池浩希	3	遠野	13	川原海大	3	遠野
4	佐々木幹太	2	遠野東	14	菊池匠翔	2	遠野
5	佐々木康成	2	遠野	15	菊池圭祐	2	花巻北
6	櫻井颯哉	1	遠野東	16	高砂子俊裕	2	遠野東
7	菊池静哉	3	遠野	17	堀切滉太	1	遠野東
8	菊池魁	2	遠野	18	菊池宏弥	1	遠野
9	菅沼大靖	3	遠野	19	小水内彪雅	1	遠野東
10	佐々木眞留	3	遠野東	20	似田貝翔	1	遠野東

●監督:前原達也 ●記録員:菊池健翔/菊池航希/菊池優雅

1_強豪・花巻東との熱戦が幕開け 2_ベンチからの声援が途切れることなく選手を盛り立てた 3_マウンドに集まり声を掛け合う選手たち 4_ファーストゴロをさばき、本塁をけん制する小笠原 5_4回裏、鮮やかなクリーンヒットを打ちチャンスを広げた佐々木(眞) 6_守備から戻ったナインを出迎える仲間 7_必ずアウトにする! 胸を熱くする全力プレー 8_感染症対策がとられ、各プレーに父母は拍手で選手を称えた 9_選手たちに保護者から惜しめない拍手が送られた

2回以降も毎回得点を奪われる苦しい展開の中、マウンド上の主将・菊池浩希(3年)は、仲間からの「負けるな!」の声に奮起。直球で攻め続け、強力打線から空振り三振を奪う力投を見せた。

緑峰の反撃は4回裏、好投手を前に、この回先頭の菊池魁(2年)が死球を受け出塁すると、菊池優雅(2年)が中前打で続き無死1、2塁。続く3番・佐々木眞留(3年)が130キを越える速球にジャストミート。左前へ痛烈なヒットを打ち無死満塁とチャンスを広げた。得点が欲しい緑峰。4番の菊池(浩)は、気迫のフルスイングを見せるもバットは空を切り三振。5番・小笠原莉希(3年)が執念で食らいつくも相手の正面をつき併殺。惜しくもチャンスを生かすことができなかった。最終回となった5回も花巻東の投手陣を打ち崩すことができず5回コールド。全力プレーで闘い抜いた選手にスタンドの父母から大きな拍手が送られた。出場した3年生7人のうち、5人が高校から野球を始めた。野球の猛者が集う強豪相手に最後まで声を掛け合い、白球をつないだ。主将の菊池(浩)は、「結果は負けてしまったけれど、自分たちの野球ができた」と充実した表情で記者団の取材に答えた。敗れたしたもの、選手たちの表情は晴れやかだった。



IWATE HIGH SCHOOL BASEBALL TOURNAMENT ELIMINATION ROUND "TOHNORYOKUHO vs HANAMAKIHIGASHI"

BASEBALL DIGEST



令和2年度 夏季岩手県高等学校野球大会

第102回全国高等学校野球選手権大会岩手県予選大会代替大会ダイジェスト

高校球児の夢舞台「甲子園」と「夏の大会」中止に伴い開催された本県の独自大会。

新型コロナウイルス感染防止のため、各校の応援団、大観衆の声援はなく、球児の声と打球音がグラウンドに響いた。

最後の夏、一投一打に懸ける球児の姿を追った。

夏

季岩手県高等学校野球大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった第102回全国高等学校野球選手権大会と同地方大会の代替大会として、岩手県高等学校野球連盟が独自開催。大会は県内7地区に分かれての地区予選から始まり、同連盟に加盟する69校65チームが熱戦を繰り広げた。

県大会出場を懸けた一戦。遠野緑峰高校野球部は7月5日、花巻球場で夏3連覇を目指す・花巻東高校と対戦。県内屈指の強豪に果敢に挑むも17対0で敗れた。

初回、守備に就いた緑峰ナインに花東打線が襲いかかる。先頭打者の痛烈な打球は、高校から野球を始め、た石橋涼(3年)が軽快にさばいてアウト。その後も鋭いスイングから痛烈な打球が内外野に飛び、5失点。



花巻地区予選

遠野高 5 × 6 花北青雲高

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
遠野	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	5
花北青雲	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1×	6

【遠野バッテリー】鈴木(達)、菊池(楽)、菊池(紘)―石田



【登録メンバー】※○印は主将

背番号	名前	学年	出身中	背番号	名前	学年	出身中
1	菊池紘士朗	3	遠野東	11	澤里虹希	3	遠野
2	石田将汰	2	遠野東	12	伊藤雅也	1	遠野西
3	川久保颯真	3	遠野東	13	菊池楽空	2	遠野東
4	佐々木勁吾	3	遠野東	14	菊池瑛太	1	遠野
5	菊池暉	3	遠野	15	川久保粹人	2	遠野東
⑥	佐々木陽翔	3	遠野東	16	佐々木秀太	1	遠野東
7	佐々木柊翔	3	遠野	17	菊池海星	2	遠野東
8	神原大輝	2	遠野	18	菊池阜了	1	遠野東
9	畑山凜人	3	遠野	19	佐々木仁	2	遠野西
10	鈴木達哉	3	遠野	20	阿部和斗	1	遠野東

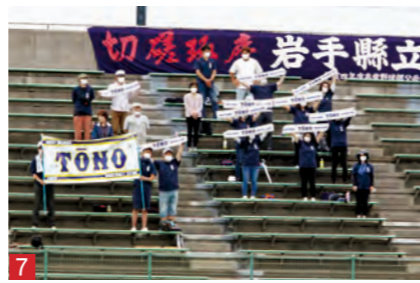
●監督:佐藤紘大 ●記録員:佐々木聖佳/佐藤凪/石橋美咲

1_ 5回表、佐々木(頸)の2点適時打で3対3の同点に追いついた遠野ベンチ 2_ ベンチ前で士気を高める選手 3_ 7回表、石田がホームに生還し5対5の同点に 4_ 横っ飛びで打球を追う主将・佐々木 5_ 140°に迫る直球を武器にマウンドで圧巻の投球を見せた菊池(紘) 6_ 7回の同点打を放った佐々木(柊) 7_ 新型コロナウイルスの感染対策のため、入場が制限されたスタンド。父母らが声を出さず選手にエールを送った 8_ ベンチで得点の喜びを爆発させる選手たち 9_ 試合後には父母が選手を称え、涙と笑顔が広がった



「コロナ禍で夏の公式戦が中止。どうすることもできない悔しさを味わった。佐々木主将は、「当たり前が当たり前じゃない。その大切さに気付いた。力は出し切った。みんなとプレーできたことに感謝したい」と涙をこらえて胸を張った。

「逆転を狙う6回、遠野は足の痛みを抱えるエース・菊池紘士朗(3年)がマウンドへ。試合後、「家族よりも一緒に過ごしてきた仲間が頭をよぎった」と涙を見せた背番号1が躍動する。最速137km/hを記録した速球で3者連続三振。歯を食いしばり、雄叫びを上げた。直後の7回表、遠野打線が奮起。ヒットと四球に相手のミスが絡み一死2、3塁。同点のチャンスにこの日3安打の活躍を見せた5番・佐々木柊翔(3年)が弾き返した打球は中前へ。2者が生還し、5対5の同点。試合を再度振り出しに戻した。その後、菊池(紘)は9回まで花北青雲打線を無安打に封じる。野手陣も好守備で盛り立て延長戦へ。両校の意地がぶつかり合う激戦は11回裏、二死1、2塁フルカウントから花北星雲の主将の一打で2走が生還し、5対6。試合時間は3時間18分だった。



IWATE HIGH SCHOOL BASEBALL TOURNAMENT ELIMINATION ROUND "TOHNO vs HANAKITASEIUN" BASEBALL DIGEST II

夏季岩手県高等学校野球大会ダイジェスト2



全力疾走 発声



「夏の大会」に向け努力を続けてきた3年生。その姿を追い、苦楽を共にしてきた後輩たち。少しでも長く仲間とともに。手に汗握る激戦が繰り広げられた。

全力疾走「全力疾走」をチームの合言葉に挑んだ集大成の夏の遠野高校の球児たちは持てる力の全てを白球に込めた！

高校野球岩手大会花巻地区予選に出場した遠野高校野球部は7月5日、花巻球場で花北青雲(花巻市)と対戦。2度、同点に追いつく執念を見せるも延長11回裏、相手主将の一打で幕を閉じた。遠野の先攻で幕を開けた一戦。初回、四死球で無死1、2塁のチャンスを迎えるが無得点。その裏、ヒットと犠打で一死2塁のチャンスを作った花北青雲に先制点を奪われてしまう。続く2回にも追加点を奪われ、リードを許す展開。反撃は3回表、1番・石田将汰(2年)が中前ヒットで出塁。4番の主将・佐々木陽翔(3年)が左前ヒットでチャンスを広げると、相手のワイルドピッチで1点を返す。5回表、3つの四死球で無死満塁のチャンス。花北青雲は投手交代。迎えた3番・佐々木頸吾(3年)が初球を強振。1、2塁間を破る2点適時打で同点。試合を振り出しに戻した。流れを引き寄せたかに見えた5回裏。花北青雲も意地を見せ、2本の長打などを絡めて勝ち越し。2点のリードを許して試合を折り返した。